

横濱に昭和初期のともし火を

あさやまばし ～ 浅山橋の灯具（親柱）を復元し点灯します！～

浅山橋は、1923(大正 12)年の関東大震災後の復興事業で造られた「震災復興橋梁」※として 1928(昭和 3)年に竣工した、横浜駅東口から約 300m に位置する石崎川に架かる橋梁です。

竣工当時の浅山橋は、文献によれば、親柱の頭部に灯具を有していましたが、長らく親柱のみの状態となっており、他の震災復興橋梁の多くも灯具は現存していません。

今回、浅山橋の補修工事に併せ、親柱の灯具を復元しました。灯具には、ソーラーパネルを設置して明かりを灯し、夜間に当時の面影をかもしだします。

【事業の概要】

所在地：横浜市西区高島町二丁目 11 番 11 号地先から平沼町一丁目 40 番 1 号地まで

橋の規模：長さ 24.5m、幅員 22.0m

工事期間：平成 25 年度～平成 26 年度

補修内容：桁、床版、高欄、横断防止柵、舗装の補修、塗装塗替、灯具の復元

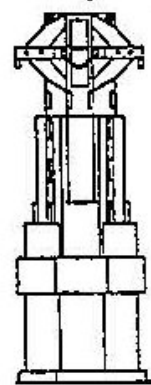
復元灯具：灯具材質・灯数：銅製（内部アングル・ベースはステンレス製）・4 基

内部照明：LED 電球 4 灯／基 ソーラーパネル 1 基／基

点灯日：平成 26 年 6 月 20 日（金）より点灯開始（自動点灯）



浅山橋親柱（点灯状況）



浅山橋
親柱

親柱図面

（横濱復興誌 第二編より）

※ 震災復興橋梁とは、1923(大正 12)年の関東大震災後の復興事業として造られた橋梁で、市内では、現在 41 橋が現存しています。優れた美観を有するものが多く、特に橋梁の四隅に建つ親柱は、橋梁毎に固有の意匠があり、昭和初期の趣を残しています。

< 裏面あり >

案内図



施工前 (灯具設置前)



施工後 (灯具設置後)



浅山橋全景 (灯具設置後)

※ 写真についてはデータをご提供できます。

お問合せ先	
道路局 橋梁課長 菊地 健次	Tel 045-671-2752
西区 西土木事務所副所長 浅野 泰史	Tel 045-242-1313